

## 四日市工場/中央研究所 環境保全

### PRTR

PRTR(注)は、人や生態系に悪影響を及ぼしうる物質が、どこから・どこに・どのくらい排出、移動されているかを国が公表する制度です。この制度は、化学物質に関する情報を広く公開するだけでなく、情報公開を通じて企業自身に自制を促すことも狙いとしています。

2017年度の四日市工場を対象となる物質は29種類、中央研究所は1種類となり、国に届出を行っています。

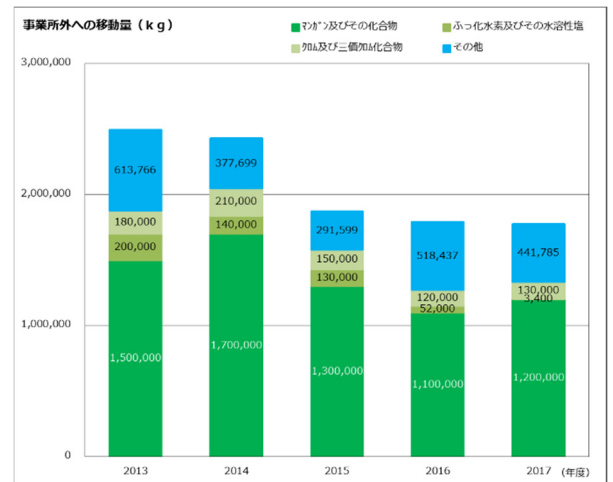
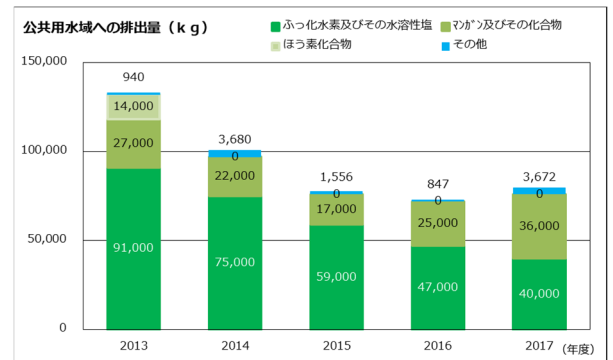
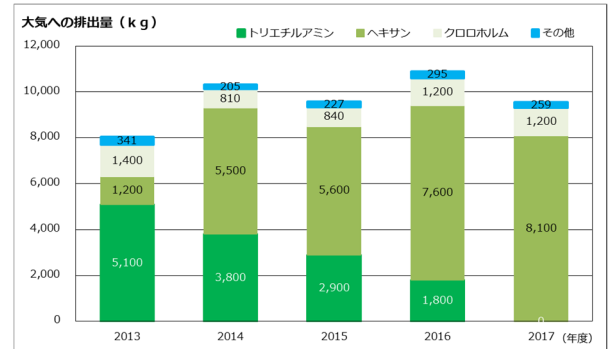
(注) : PRTR(Pollutant Release and Transfer Register: 化学物質排出移動量届出制度)

四日市工場 対象物質

(kg)

| No | 物質                     | 排出量   |        | 移動量       |
|----|------------------------|-------|--------|-----------|
|    |                        | 大気    | 公共用水域  | 事業所外      |
| 1  | 亜鉛の水溶性化合物              | 0     | 1,400  | 0         |
| 2  | アセトアルデヒド               | 62    | 0      | 0         |
| 3  | アセトニトリル                | 17    | 0      | 1,200     |
| 4  | アンチモン及びその化合物           | 0     | 650    | 10,000    |
| 5  | ホスチアゼート                | 0     | 0      | 450       |
| 6  | 塩化第二鉄                  | 0     | 0      | 560       |
| 7  | キシレン                   | 0     | 0      | 26        |
| 8  | クロム及び三価クロム化合物          | 0     | 0      | 130,000   |
| 9  | フルアジナム                 | 0     | 0      | 210       |
| 10 | クロロホルム                 | 1,200 | 31     | 120,000   |
| 11 | MCP                    | 0     | 0      | 450       |
| 12 | 2,4-D                  | 0     | 0      | 180       |
| 13 | ピラゾキシフェン               | 0     | 0      | 23        |
| 14 | N, N-ジメチルアセトアミド        | 0     | 0      | 41        |
| 15 | ジメチルアミン                | 0     | 0      | 37        |
| 16 | チオ尿素                   | 0     | 0      | 0.1       |
| 17 | トリエチルアミン               | 0     | 0      | 0         |
| 18 | 1, 2, 4-トリメチルベンゼン      | 0     | 0      | 9         |
| 19 | トルエン                   | 180   | 5      | 6,000     |
| 20 | ナフタレン                  | 0     | 0      | 16        |
| 21 | 鉛化合物                   | 0     | 23     | 7,300     |
| 22 | ニッケル化合物                | 0     | 63     | 7,300     |
| 23 | バナジウム化合物               | 0     | 0      | 240,000   |
| 24 | 砒素及びその無機化合物            | 0     | 0      | 980       |
| 25 | ふっ化水素及びその水溶性塩          | 0     | 40,000 | 3,400     |
| 26 | ノルマルヘキサン               | 8,100 | 0      | 47,000    |
| 27 | ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル | 0     | 0      | 3.1       |
| 28 | マンガン及びその化合物            | 0     | 36,000 | 1,200,000 |
| 29 | モルホリン                  | 0     | 1,500  | 0         |
| 計  |                        | 9,559 | 79,672 | 1,775,185 |

過去5年間の四日市工場における排出量及び移動量の推移を以下に示します。



中央研究所 対象物質

(kg)

| No | 物質      | 排出量 |       | 移動量   |
|----|---------|-----|-------|-------|
|    |         | 大気  | 公共用水域 | 事業所外  |
| 1  | アセトニトリル | 62  | 0     | 2,000 |
| 計  |         | 62  | 0     | 2,000 |

## 四日市工場 環境保全

### 環境マネジメントシステム(EMS)

四日市工場ではISO14001 認証を取得し、工場の環境方針を定め、EMS 活動を継続しています。

## 四日市工場 環境方針

石原産業株式会社四日市工場は、主に酸化チタン、無機機能材料、農薬・有機中間体、医薬原薬、石膏、酸化鉄、硫酸等の製造及び開発に携わり、多くの原材料やエネルギーを使用しています。

事業活動を行うに当たっては、当社の“環境・安全衛生基本方針”に従い、一人一人が環境保全についての自らの責任を認識し、環境負荷の低減を計画的に図ると共に、“持続可能な工場運営”のために資源の有効活用を推進し、社会や地域住民から信頼される工場を目指して、以下の方針を定めます。

1. 四日市工場の運営に当たり、環境関連法令、協定、業界等の指針を順守すると共に、自主的な環境保全の取組みによって、汚染の予防に努めます。
2. 製品の製造・開発に当たり、環境負荷の軽減並びに気候変動への対応などに資するために、製品設計、原材料及び製造方法などに配慮するよう努めます。
3. 環境マネジメントシステムの成果を向上させるため、以下の項目に対して環境目標を設定して適宜見直しを行うと共に、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
  - (1) 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染の防止
  - (2) 廃棄物の発生抑制・再利用・再資源化の推進
  - (3) 省資源・省エネルギー及び地球温暖化防止対策の推進
  - (4) 法令、協定、その他の情報の共有と業務への展開
  - (5) 有益な環境側面該当業務の推進
4. これらの環境保全の取組み状況及び環境マネジメントシステムについて、行政機関及び業界団体、お客様、地域社会の皆様、並びに供給者・委託先の皆様とのコミュニケーションを推進し、相互理解に努めます。

この「四日市工場 環境方針」に基づく環境マネジメントシステムは、四日市工場の酸化チタン、無機機能材料、農薬・有機中間体、医薬品原薬、石膏、酸化鉄、硫酸等の製造、開発及びこれらに関連する管理・間接業務、並びに楠倉庫の酸化チタン及び機能材料製品の入庫・保管・出荷に対して適用されることを、社内外に公表します。

2017年 4月 1日

石原産業株式会社  
四日市工場長

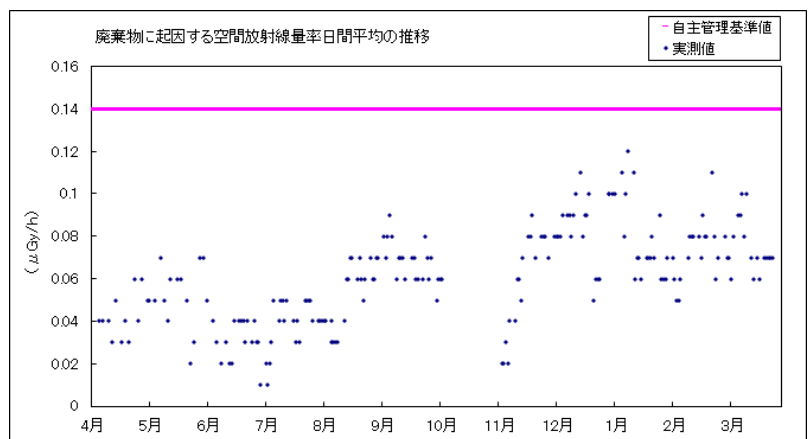
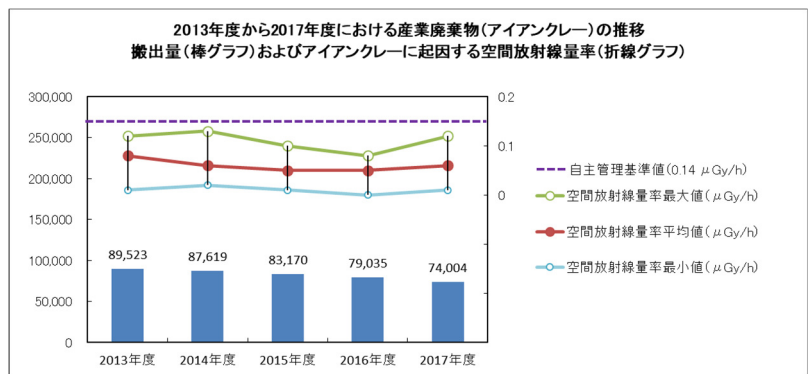
加藤智洋

## 四日市工場 産業廃棄物

2017 年度における四日市工場の産業廃棄物(アイアンクレー)の最終処分場への搬出量と、産業廃棄物(アイアンクレー)に起因する空間放射線量率は次の通りです。

| 年         | 月     | 搬出量(t) | 産業廃棄物に起因する空間放射線量率<br>( $\mu\text{Gy/h}$ ) |      |      |
|-----------|-------|--------|---|------|------|
|           |       |        | 平均値                                       | 最大値  |      |
| 2017年     | 4月※   | 0      | 0.04                                      | 0.06 |      |
|           | 5月※   | 0      | 0.05                                      | 0.07 |      |
|           | 6月    | 5,340  | 0.03                                      | 0.05 |      |
|           | 7月    | 10,672 | 0.04                                      | 0.05 |      |
|           | 8月    | 12,451 | 0.05                                      | 0.07 |      |
|           | 9月    | 11,673 | 0.07                                      | 0.09 |      |
|           | 10月   | 1,420  | 0.06                                      | 0.06 |      |
|           | 11月   | 6,273  | 0.06                                      | 0.09 |      |
|           | 12月   | 6,797  | 0.08                                      | 0.11 |      |
|           | 2018年 | 1月     | 7,361                                     | 0.08 | 0.12 |
|           |       | 2月     | 6,337                                     | 0.07 | 0.11 |
|           |       | 3月     | 5,681                                     | 0.08 | 0.10 |
| 2017年度 累計 |       | 74,004 | 0.06                                      | 0.12 |      |

※最終処分委託先の一時的な事業停止により2017年3月16日から2017年6月13日の間、四日市工場で発生した産業廃棄物(アイアンクレー)は場外に搬出せず、適正に保管していました。保管していた産業廃棄物(アイアンクレー)は、最終処分委託先の事業再開により2017年6月14日より搬出を再開し、2017年10月2日に搬出を完了しました。



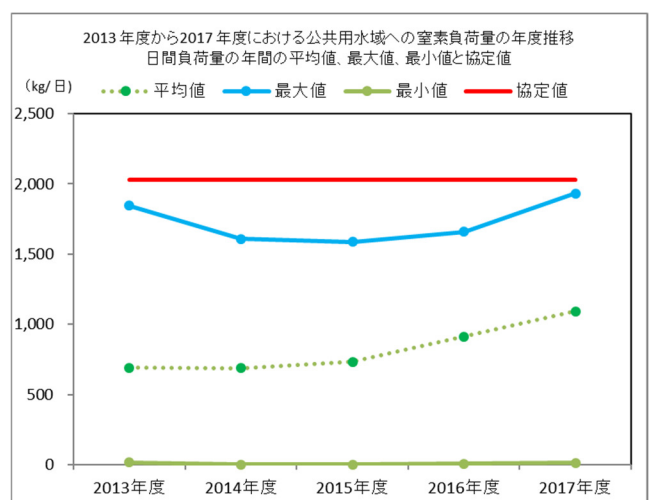
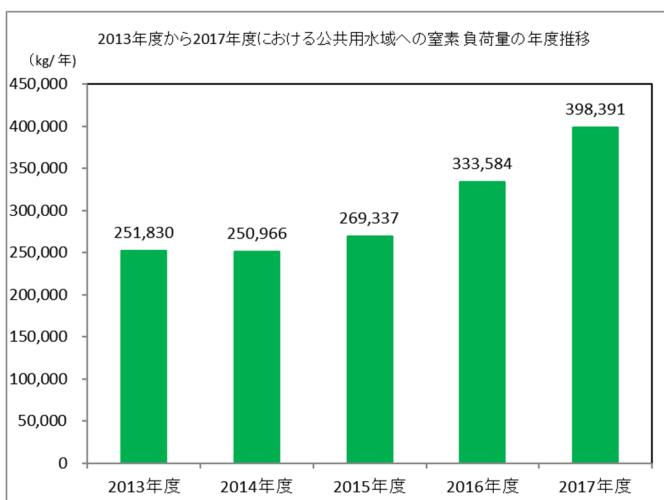
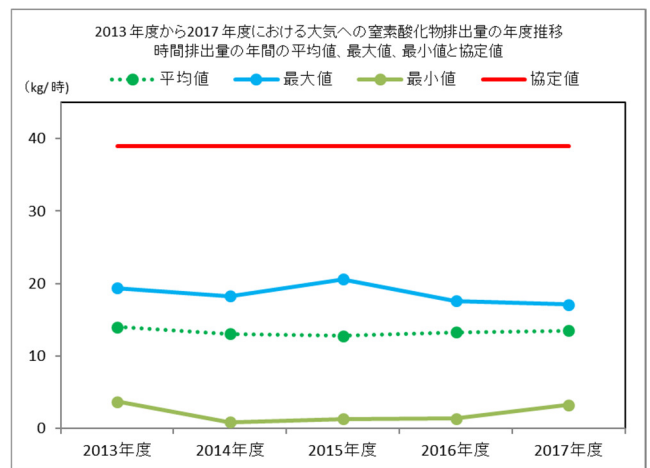
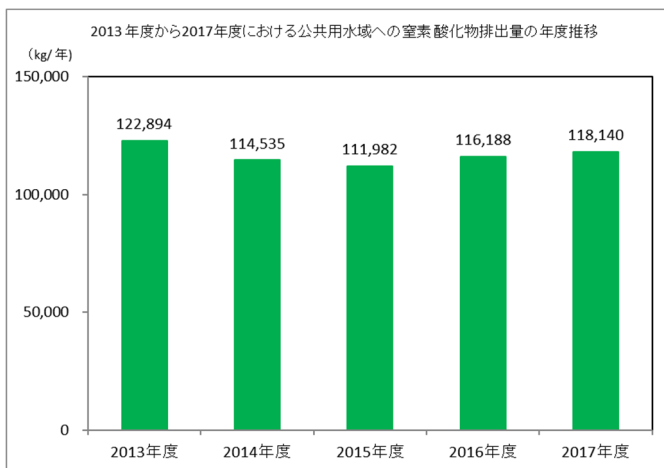
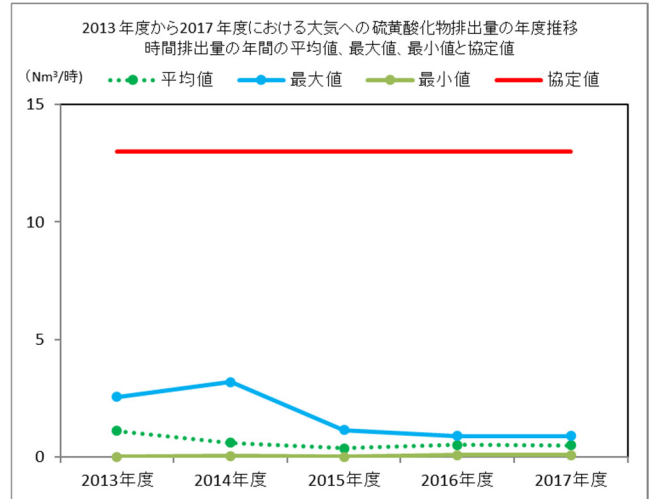
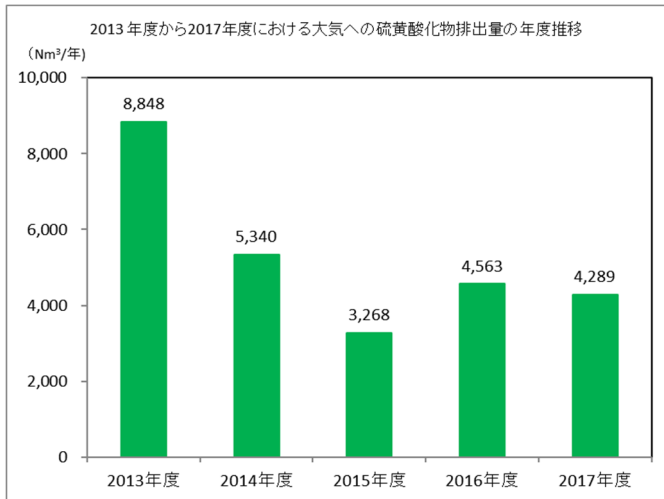
### アイアンクレーの発生抑制

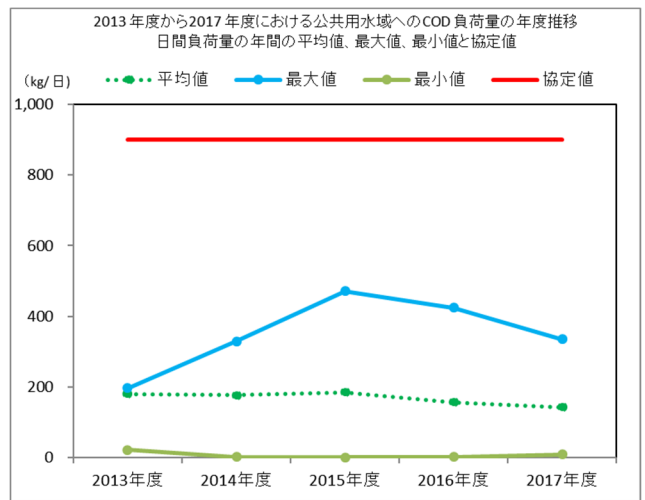
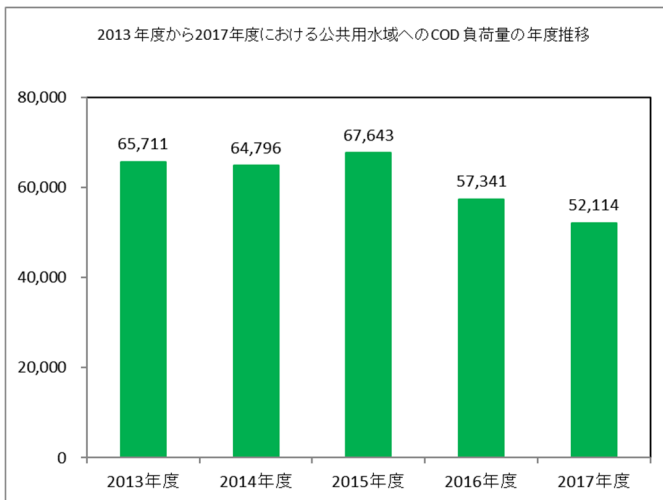
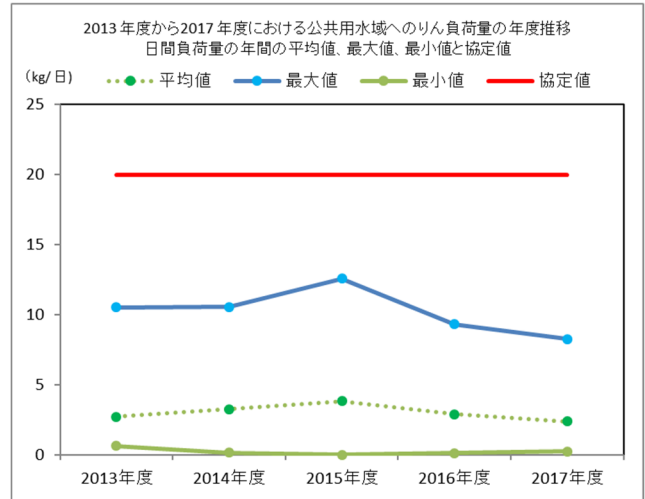
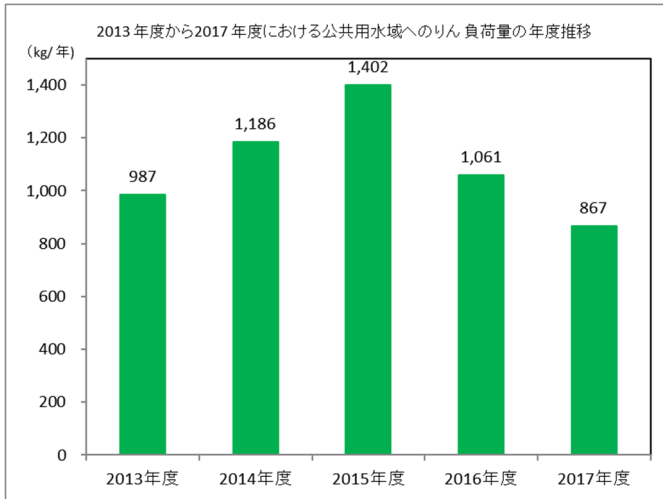
酸化チタン等の各生産活動に伴って発生する不要な固形分(アイアンクレー)を産業廃棄物として処分場に適切に搬出しています。2016年10月の定期修理後、新しい方法に切り替えて課題であるアイアンクレーの発生抑制を図っています。ただし、2017年度は2016年度よりも主力製品である酸化チタンを増産したことに伴い、アイアンクレーの発生量も増加を余儀なくされましたが、含水率の低減を図ることで搬出量の抑制に努めています。

## 四日市工場 大気・水質(CSR 報告書 2018:P.14 と関連)

四日市工場(旧 四日市エネルギーサービス株式会社含む)の大気および公共用水域への総量規制対象物質の排出量は次の通りです。

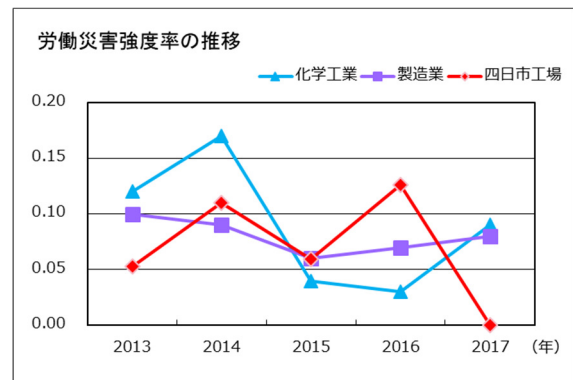
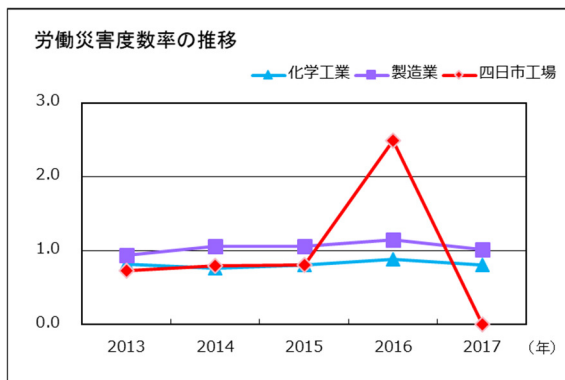
協定値は四日市市と締結した公害防止協定で取り決めた数値です。大気汚染防止法および水質汚濁防止法に基づいて定められた総量規制値より厳しい基準となっています。





#### 四日市工場 労働安全衛生(CSR 報告書 2018:P.17 と関連)

労働災害度数率・強度率の推移を以下に示します。



2018年度の安全衛生活動推進計画は、以下の主要8項目を推進中です。

- ① 安全衛生管理体制の見直し・改善
- ② 新規・既存設備、作業の安全化
- ③ 安全衛生教育の実施
- ④ 職場の自主活動の推進
- ⑤ 工事安全管理の推進
- ⑥ 作業環境管理、健康管理
- ⑦ 安全衛生監査
- ⑧ 関係・協力会社との安全衛生・防災面での連携強化

四日市工場 社会との対話(CSR 報告書 2018:P.18 と関連)

地域広報誌の発行

2009年1月より、地域コミュニティ誌「きずな(塩浜地域の皆様へ)」を年2回発行し、工場周辺地域の各世帯に向けて自治会に配布しています。当社四日市工場の方針や地域との取り組み・コミュニケーションについて、積極的な情報発信に努めています。

# きずな

(塩浜地域の皆様へ)

August. 2018  
Vol.19



---

残暑お見舞い申し上げます

厳しい残暑が続いておりますが、皆様お元氣にお過ごしでしょうか。この度、「きずな(塩浜地域の皆様へ)」Vol.19を発行致しますので、ご一読下さい。今後とも、塩浜地域の皆様には、弊社工場運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

石原産業株式会社  
取締役常務執行役員 四日市工場長 加藤智洋  
社長室 四日市広報部



内 容

- 塩浜中学校・一年生 工場見学会を開催
- 最近の出来事
  - ・工場安全/特別防災訓練
  - ・鈴鹿川クリーン作戦
  - ・国土交通省からの感謝状
  - ・水台総務部長 就任挨拶



**石原産業(株)**  
**四日市工場**

2018年5月28日開催 地域向け工場見学会

| 項目                 | 内容  |
|--------------------|---|
| 防災・地震対策の取り組み状況     | 環境・安全衛生基本方針を基に工場一丸で安全衛生活動を展開していることと併せて、貯蔵施設のリスク低減と地震対策の取り組みを説明しました。   |
| 四日市市南消防署との特別合同防災訓練 | 震度6強 350ガル 約1分間の強震動が発生し、LPG貯槽の気化器出口からLPGが漏えいし、電気室付近から火災発生したことを想定し、四日市市南消防署と合同による特別防災訓練を実施しました。併せて、地域の皆様に見学をいただきました。 |

その他の取り組み

2018年10月12日に「第7回レスポンシブル・ケア四日市地区地域対話会」が開催されました。当社は準備活動に参画し、対話会ではRCの説明をしました。また、防災や環境に関する協議会等に参画しているほか、メディアへの取材協力など多岐にわたって地域の活動、あるいは産業や観光の振興に協力しています。